3 レポーターからの画像鑑定依頼

このページでは、みなさんの生き物調査の参考になるよう、令和2年度中にレポーターの芳から質問(写真つき)や現物の提供があった生き物と、その鑑定結果について掲載しています。今年もたくさんのご質問をいただきました。レポーターの皆さん、ご回答いただいた検討委員の皆さん、ありがとうございました。

【鳥】

アオサギ

サギの中で最も大き く、ダイサギよりも 大型。写真のアオサギ



は冠羽(※1)がなく色が淡いので若鳥と思われる。ときどき人家の屋根にも降りる。市内ではコサギが激減し、アオサギが一番多いかもしれない。

キジバト

へいせい 平成30年度まで調査 たいしょうしゅ 対象種だった。

穏やかなトリで、2羽

並んでいたらおそらく夫婦。オスの方がメスよりやや大きい。



ツグミ

10月頃シベリアからた。では、 では、 では、 では、 できる を見。 日本 せんこく 全国でみることができ



る客島の代表的な鳥。4~5m蓮んでは立ち止まり、それを繰り遊す。写真のツグミはかなり上を向いているがオオタカやチョウゲンボウの動きを注意していたようだ。

ヒヨドリの巣

ででいます。 技や葉に巣がしっかり と固定してあること、 ナイロンひもを開いて



10~20 cmほどのお ^{わんがた} すっく 椀型の巣を作る。

☆花の蜜を吸う ヒヨドリ

※1 対象: いちぶ しゅう がま などに生えている特徴的な飾り図。

【植物】

コアジサイ

関東以西に分布する 5くようていぼく 落葉低木。花期は6~ 7月で、青白い花が咲



く。アジサイ類に特徴的な装飾花(警が花弁 (花びら)のように大きく発達した花)はない。 ギザギザの自立つ大きな鋸歯(葉の縁にある切れ込み)が特徴。

針葉樹のこぶ病



トネアザミ

タイアザミとも。関東 地方の山野にやや が は 8 に見られる。花期は 20~ 2 葉につく 葉 は 20~ 30 cm、基部は 次くなり



ナツノタムラソウ?

写賞だけではナツノタ ムラソウかアキノタム ラソウか判別が難し い。咲いている花のお しべなどで見分ける。



ウラシマソウ



ノハラアザミ

東北・関東地方に分布する多年草。花期は8~10月。茎葉は上部ほど小さく、基部は茎を抱く(※2)。総苞は粘らない。



れないことからウラシマソウとした。

※2 葉の付き芳について、望を抱く=葉が望に酌り込んでいるもの、望を抱かない=葉が望に酌り込んでいないもの、を指す。

※3 総苞…タンポポなどの花の外側を包む部分のことで、多くの総苞片の集まり(花の集まりを支える土台のようなもの)。

【昆虫】

アカボシゴマダラ

外来種で急激に増えている。 産卵しているところを撮影したとのこと。



アサギマダラ

首名のフジバカマの花に来ていたとのこと。オスかメスかの判定を求



められ、オスではないかとお返事を差し上げた。 ちょうきょりいとう 長距離移動する 蝶 として有名である。

イセリア カイガラムシ

ミカンなどの柑橘類の パラック がいらいしゅ 害虫。外来種。



オオカマキリ

ちょうさたいしょうしゅ 調査対象種。



オオセイボウ

大きさ7~10 mm。 空地から低山地にかけて見られる。 幼虫はスズバ

チなどの巣に寄生する。 足利市では稀で見つけたとは幸運である。 歯と蝉の絶滅危慎糧(情報不足)。 非常に美しく生きた宝岩と言っても良い。



オンブバッタ

定利市に広く生息し多い。草地を好み人家の 庭でもよく見られる。





オスがメスの背中にいることが多い。

カラスアゲハ

遊縁のミヤマカラスアゲハが 足利市北部 の さんち で見られることが



物のに対し、カラスアゲハは足利市の広い はたいに性できなる。後バネ裏面の白い帯が幅広い のでカラスアゲハと鑑定した。



☆ミヤマカラス アゲハ 詳しくはP85参照

ガロアムシ(幼虫)

水河時代の生き残りと 当われ生きた化石とも 言われている。寒さを



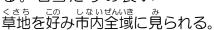
好み愛が観察に適している。英名lce crawlers (永を這う虫)と言われている。日当たりの悪い湿った所を好む。足利市ではおもに北部の心地にいるが両崖山・大小山でも見つかっている。産地では少なくないが生息環境が特殊なため見つけるのが容易ではなく、よく見つけたと思う。名前は日光中禅寺湖畔で初めて採集したフランス人外交管ガロアにちなむ。栃木県を代表する虫で1924年に新種として発表された。



うガロアムシ雌成虫 (大川検討委員提供)

キアゲハ

が虫はセリ、ニンジン、パセリなどを食べる。 日当たりの良い



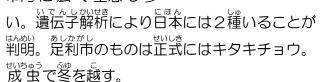


キタテハ

が虫の食草はカナム グラ。白当たりの良い 荒れ地や草地に多い。 市内どこでも見られる。



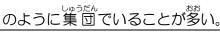
キチョウ (キタキチョウ)





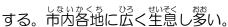
キバラヘリカメムシ

ば、虫の大きさ 14~ 17 mm。ニシキギ・マユミ・ツルウメモドキなどの実を好む。足利市では見かける機会はどうない。カメムシは写真





キボシカミキリ





クビキリギス

大きさ 60~70 mm。 対方のさ 60~70 mm。 対方のさ 200 対 の 生 える 5 世 地 を 3 で が か か の 生 える 5 世 地 を 3 で が か い で 生 息 す む。 市内に広く生 生 息 す る。 春先の 暖 かい夜に は ジーーと鳴いているのを聞くことができる。



クルマバッタ

大きさ 40~60 mm。 「草地を好み市内全域に 性息する。成虫は7~ 11月にかけて見られる。



クロコガネ

大きさ 17〜22 mm。 しないだい境 に 生息 し 多 市内全域 に 生息 し 多 い。成 虫は 5〜7月頃



出現。人家の庭などにもいる。足利市にはこの なかま 仲間が3種いて、 互いによく似ている。

クワカミキリ

30~52 mmと大型。クワやイチジクを加害する。見かける機会は少ない。



コハナバチの一種

この仲間は多くの種類がいて似たものが多く名前までは分からなか



った。春から夏にかけて各種花に集まる。大きさ10㎜前後。

サトクダマキモドキ

大きさ 45~62 mm。 へいた なんな (足利市で 中地 や山地 (足利市で は 平地 との 境 の山沿



い) の樹上にいる鳴く虫。足利市にはヤマクダマキモドキもいるが後者の方が多い。

サビキコリ

大きさ 12~16 mm。コメッキムシの仲間。 かくしゅかんきょう 市内全域 の 各種環境



に多い。OOキコリというコメツキムシは をしかがし 足利市から 6種知られている。

シオカラトンボ (メス)

最も多いトンボのーつ。市内各地にいる。メ スはムギワラトンボとも言う。



ショウリョウバッタ ょうちゅう (幼虫)

メスは大きさ 80 mmに も達する。成虫は8~ 11月頃にかけて明る



い草地に普通に見られる。市内全域に生息する。 オスはキチキチキチと飛び、別名キチキチバッタとも言われる。

セイヨウミツバチ

かくしゅはな 各種花に多い。



センノキカミキリ

タラノキにいたとのこと。大きさ 26~36 mm と大型。幼虫はハリギ



リ(センノキ)、ヤツデ、タラノキを加害する。 たないさんち 市内山地に広く生息するものと思われるが見か ける機会は少ない。

ダイコンハムシ

大きさ4mm前後。アブラナの仲間を加害する



がいちゅう せいちゅう はる あき 書 虫。成虫は春から秋にかけて見られる。 まりかがしぜんいき せいぞく 足利市全域に生息している。

ナガメ

大きさ 6.5~9.5 mm。葉 の花などのアブラナの なかま 仲間に多い。 市内全域 でよく見られる。



ナナホシテントウ

ちょうさたいしょうしゅ 調査対象種。



ナミテントウ

大きさ 4.7~8.2 mm。
いでんてき はんもん へんい 遺伝的な斑紋の変異がある。足利市内全域に
生息し非常に多い。



ノミバッタ

大きさ4~6mmと小さい。 やや湿った裸地を がみたいへん多い。

人家の庭先にもよく見られる。



ハイイロヤハズカミキリ

11~19 ㎜。幼虫は枯れたタケ類を加害する。足利市には広く



生息するものと思われるが見かける機会は少ない。渡良瀬川での記録もある。

ハマオモトヨトウ

が分布北上中の蛾で 栃木県でも 1995年頃 いこうきろく 以降記録がある。幼虫



ヒナバッタ

がたまさ 19~30 mm。 明 るい草地に普通に見ら れる。市内全域に生息



する。オスはジュルジュルジュルと鳴く。

はヒガンバナの仲間ならなんでも食べる。成虫 は移動能力が高く、温暖化に伴い今後増える ことが予想される。

ヒメウラナミジャノメ

ょうちゅう 幼 虫はイネ科、カヤツ リグサ科を食べる。明 るい草地を好み市内 せんいき ひじょう おお 全域に非常に多い。



ヒメカメノコテントウ

大きさ3~4.5 m。平地 から山地にかけて多 い。人家の庭でも良く 覚られる。



ヒメギス(メス)

党きさ 17~22 mm。キ リギリスよりもかさ い。湿った草地を好む。 ァールがした。 足利市には広く生息するがいるところはやや限



ヒメナガカメムシ

大きさ5㎜前後。イネ の 仲間 の 穂 や 各種 植物の花などにたい



へん多い。足利市全域に生息している。ダイコ ンハムシと一緒にいた。

られる。 フクラスズメ(幼虫)

イラクサ・カラムシな どの葉を食べる。敵の 気配を察すると激しく



ベダリアテントウ

^{***}大きさ 3.3~3.8 mm。 だいかん どうにゅう 台湾から導入された イセリアカイガラムシ



てんてき とちぎけん の天敵。栃木県からの正式な記録は少ない。

る。成虫で冬を越す。

マドガ

ハネを広げた幅が 15 cmと小さな蛾で昼間 がつどう 活動する。明るい草地



マユタテアカネ (メス)

しないぜんいき せいそく 市内全域に生息するが ず 少なくなってしまっ た。顔に眉のような黒



い紋があるのでこの名がついた。

に見られる。市内全域に見られるが、注意しな て^{あらわ}れる。

ミドリヒョウモン

なうちゅう 幼虫はスミレの仲間 を食べる。山沿いによ く見られる。足利市で



ミヤマアカネ(メス)

市内全域に生息するが 少なくなってしまった。



はツマグロヒョウモンに次いで多い。写真は たたかがた 暗化型のメスと思われる。

ミヤマカラスアゲハ

定利市ではおもに北部 さんなに見られるが少な 山地に見られるが少ない。写真は吸水してい



モンスズメバチ

「小型のスズメバチ。

**たちませがわ など 平地 を 渡良瀬川 など 平地 を 中心に見られる。 国の だいがら まるくしゅ (情報不足) 絶滅危惧種 (情報不足)



を記される。 によっぽうぶそく 絶滅危惧種 (情報不足)であるが足利市では少なくない。

るところ。幼虫はキハダ、コクサギ、カラスザンショウなどを食べる。カラスアゲハに似るがより金属光沢が美しい。

ヨトウガの一種の ^{ようちゅう} 幼虫

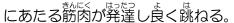
作物の害虫として知 られるヨトウガ(夜盗





ルリマルノミハムシ

大きさ3.2~4 mm。各種 花に集まり足利市の かくち 各地に多い。後足の腿

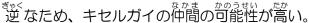




【水辺の生き物】

オオクビキレガイ?

設計部が欠け、外染糧のオオクビキレガイに似るが、質の巻き方が





メダカ (クロメダカ)

野生のメダカで、小川 や苗んぼ、池などに 生息している。



タイワンシジミ

在来種のマシジミによく似ている。マシジミは少し色が濃く丸みが



ヌマガエル

体長3~5cm。おもに が出や河川の近くなど の水辺にいる。おなか 側は白く、模様がない。

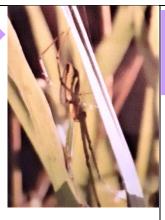


あり、頂上部のはげ方ももう少し範囲が広い。

【クモ】

オオシロカネ グモ?

また 大きさ8~12 mm。川間 の水辺などに網を張 る。足利市でもこのよ うな環境で見られる。 この仲間は数種いて 種名の確定はできなか った。



オスクロハエトリ (メス)の成体に 近い幼生

^{ぉぉ} 大きさ7~9 mm。水辺の

^{カトレセまラ} 環境に生えるオギやヨシ・ススキの葉上にい る。足利市でもこのような環境を探せば見るこ とができる。オスとメスとでは色彩が異なる。 ち真は成体と一致せず、成体に近い幼生とした。



オナガグモ

*** 大きさ 12~30 mm。山 の縁などに見られる。 そんざい 存在に気がつかないが を見る としゅ きんち しょう ひろ 足利市の山地には広く 生息する。クモを食べ るクモとして有名。



シロカネ イソウロウグモ (オス・メス)

^{***}大きさ3mmほどの小さ なクモ。ジョロウグモ、

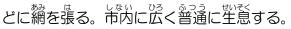
オニグモ、コガネグモの巣に居候している。 な

かなか曽につかないク モであるがレポーター さんはよく見つけたと だも 思う。



ナガコガネグモ

[™]大きさ8~25 mm。メス はオスより大きい。 そうげん すいでん はやし ふち 草原・水田・林の縁な





マミジロハエトリ? (オス)

*** 大きさ6~8mm。色々 な環境に広く性息し ^{***} 多い。オスとメスとで は色彩が異なる。



【キノコ・その他】

カワラタケ

また こうようじゅ かれまや 切り株などに見られる タマチョレイタケ科の



キノコ。できずいででで、これであったい。色 のバリエーションが豊富

カンゾウタケ

シイなどの広葉樹の ^{ねもとふきん} 根元付近に生える。カ サの直径は 10~20



cmほど。形や色が肝臓に似ているためこの名が ついた。

ツルタケ?

夏から秋にかけて林内 の地上に発生する。 ねもとなぶん 根元部分にツボがある キノコの仲間。



ウスカワマイマイ

人家近くの庭園や農 こうち ひじょう おお 耕地に非常に多い。



なまえ名前がわからない

生き物を

見つけたら?

市環境政策課にご質問をお寄せください! けんとういいん せんせいがた かんてい 検討委員の先生方に鑑定していただき、 かいとうします。

あなたの質問が貴重な発見につながるかも?

質問のしかた

次のことに気を付けて よく観察してください。



③大きさ ④色

⑤鳴き声、飛び方などの



しかんきょうせいさくか 市環境政策課にメール・手紙・電話等で これらの情報とともに ご質問をお寄せください。

(連絡先は裏表紙の裏側をご確認ください。)



じゃしん 写真があると より鑑定しやすいので かのう ばあい さつえい 可能な場合は撮影し、 しゃしん いっしょ 写真も一緒に<u>お送りください</u>